

浜松城歴代城主と出土遺物

城主	城主在任期間	城主の功績	出土遺物
徳川家康	1568(天正16)～1616(元和2)	1568(天正16) 今川氏を破る 1572(天正10) 徳川氏を破る 1574(天正12) 徳川氏を破る 1576(天正14) 徳川氏を破る 1578(天正16) 徳川氏を破る 1580(天正18) 徳川氏を破る 1582(天正10) 徳川氏を破る 1584(天正12) 徳川氏を破る 1586(天正14) 徳川氏を破る 1588(天正16) 徳川氏を破る 1590(天正18) 徳川氏を破る 1592(天正20) 徳川氏を破る 1594(天正22) 徳川氏を破る 1596(天正24) 徳川氏を破る 1598(天正26) 徳川氏を破る 1600(天正28) 徳川氏を破る 1602(天正30) 徳川氏を破る 1604(天正32) 徳川氏を破る 1606(天正34) 徳川氏を破る 1608(天正36) 徳川氏を破る 1610(天正38) 徳川氏を破る 1612(天正40) 徳川氏を破る 1614(天正42) 徳川氏を破る 1616(天正44) 徳川氏を破る 1618(天正46) 徳川氏を破る 1620(天正48) 徳川氏を破る 1622(天正50) 徳川氏を破る 1624(天正52) 徳川氏を破る 1626(天正54) 徳川氏を破る 1628(天正56) 徳川氏を破る 1630(天正58) 徳川氏を破る 1632(天正60) 徳川氏を破る 1634(天正62) 徳川氏を破る 1636(天正64) 徳川氏を破る 1638(天正66) 徳川氏を破る 1640(天正68) 徳川氏を破る 1642(天正70) 徳川氏を破る 1644(天正72) 徳川氏を破る 1646(天正74) 徳川氏を破る 1648(天正76) 徳川氏を破る 1650(天正78) 徳川氏を破る 1652(天正80) 徳川氏を破る 1654(天正82) 徳川氏を破る 1656(天正84) 徳川氏を破る 1658(天正86) 徳川氏を破る 1660(天正88) 徳川氏を破る 1662(天正90) 徳川氏を破る 1664(天正92) 徳川氏を破る 1666(天正94) 徳川氏を破る 1668(天正96) 徳川氏を破る 1670(天正98) 徳川氏を破る 1672(天正100) 徳川氏を破る 1674(天正102) 徳川氏を破る 1676(天正104) 徳川氏を破る 1678(天正106) 徳川氏を破る 1680(天正108) 徳川氏を破る 1682(天正110) 徳川氏を破る 1684(天正112) 徳川氏を破る 1686(天正114) 徳川氏を破る 1688(天正116) 徳川氏を破る 1690(天正118) 徳川氏を破る 1692(天正120) 徳川氏を破る 1694(天正122) 徳川氏を破る 1696(天正124) 徳川氏を破る 1698(天正126) 徳川氏を破る 1700(天正128) 徳川氏を破る 1702(天正130) 徳川氏を破る 1704(天正132) 徳川氏を破る 1706(天正134) 徳川氏を破る 1708(天正136) 徳川氏を破る 1710(天正138) 徳川氏を破る 1712(天正140) 徳川氏を破る 1714(天正142) 徳川氏を破る 1716(天正144) 徳川氏を破る 1718(天正146) 徳川氏を破る 1720(天正148) 徳川氏を破る 1722(天正150) 徳川氏を破る 1724(天正152) 徳川氏を破る 1726(天正154) 徳川氏を破る 1728(天正156) 徳川氏を破る 1730(天正158) 徳川氏を破る 1732(天正160) 徳川氏を破る 1734(天正162) 徳川氏を破る 1736(天正164) 徳川氏を破る 1738(天正166) 徳川氏を破る 1740(天正168) 徳川氏を破る 1742(天正170) 徳川氏を破る 1744(天正172) 徳川氏を破る 1746(天正174) 徳川氏を破る 1748(天正176) 徳川氏を破る 1750(天正178) 徳川氏を破る 1752(天正180) 徳川氏を破る 1754(天正182) 徳川氏を破る 1756(天正184) 徳川氏を破る 1758(天正186) 徳川氏を破る 1760(天正188) 徳川氏を破る 1762(天正190) 徳川氏を破る 1764(天正192) 徳川氏を破る 1766(天正194) 徳川氏を破る 1768(天正196) 徳川氏を破る 1770(天正198) 徳川氏を破る 1772(天正200) 徳川氏を破る 1774(天正202) 徳川氏を破る 1776(天正204) 徳川氏を破る 1778(天正206) 徳川氏を破る 1780(天正208) 徳川氏を破る 1782(天正210) 徳川氏を破る 1784(天正212) 徳川氏を破る 1786(天正214) 徳川氏を破る 1788(天正216) 徳川氏を破る 1790(天正218) 徳川氏を破る 1792(天正220) 徳川氏を破る 1794(天正222) 徳川氏を破る 1796(天正224) 徳川氏を破る 1798(天正226) 徳川氏を破る 1800(天正228) 徳川氏を破る 1802(天正230) 徳川氏を破る 1804(天正232) 徳川氏を破る 1806(天正234) 徳川氏を破る 1808(天正236) 徳川氏を破る 1810(天正238) 徳川氏を破る 1812(天正240) 徳川氏を破る 1814(天正242) 徳川氏を破る 1816(天正244) 徳川氏を破る 1818(天正246) 徳川氏を破る 1820(天正248) 徳川氏を破る 1822(天正250) 徳川氏を破る 1824(天正252) 徳川氏を破る 1826(天正254) 徳川氏を破る 1828(天正256) 徳川氏を破る 1830(天正258) 徳川氏を破る 1832(天正260) 徳川氏を破る 1834(天正262) 徳川氏を破る 1836(天正264) 徳川氏を破る 1838(天正266) 徳川氏を破る 1840(天正268) 徳川氏を破る 1842(天正270) 徳川氏を破る 1844(天正272) 徳川氏を破る 1846(天正274) 徳川氏を破る 1848(天正276) 徳川氏を破る 1850(天正278) 徳川氏を破る 1852(天正280) 徳川氏を破る 1854(天正282) 徳川氏を破る 1856(天正284) 徳川氏を破る 1858(天正286) 徳川氏を破る 1860(天正288) 徳川氏を破る 1862(天正290) 徳川氏を破る 1864(天正292) 徳川氏を破る 1866(天正294) 徳川氏を破る 1868(天正296) 徳川氏を破る 1870(天正298) 徳川氏を破る 1872(天正300) 徳川氏を破る 1874(天正302) 徳川氏を破る 1876(天正304) 徳川氏を破る 1878(天正306) 徳川氏を破る 1880(天正308) 徳川氏を破る 1882(天正310) 徳川氏を破る 1884(天正312) 徳川氏を破る 1886(天正314) 徳川氏を破る 1888(天正316) 徳川氏を破る 1890(天正318) 徳川氏を破る 1892(天正320) 徳川氏を破る 1894(天正322) 徳川氏を破る 1896(天正324) 徳川氏を破る 1898(天正326) 徳川氏を破る 1900(天正328) 徳川氏を破る 1902(天正330) 徳川氏を破る 1904(天正332) 徳川氏を破る 1906(天正334) 徳川氏を破る 1908(天正336) 徳川氏を破る 1910(天正338) 徳川氏を破る 1912(天正340) 徳川氏を破る 1914(天正342) 徳川氏を破る 1916(天正344) 徳川氏を破る 1918(天正346) 徳川氏を破る 1920(天正348) 徳川氏を破る 1922(天正350) 徳川氏を破る 1924(天正352) 徳川氏を破る 1926(天正354) 徳川氏を破る 1928(天正356) 徳川氏を破る 1930(天正358) 徳川氏を破る 1932(天正360) 徳川氏を破る 1934(天正362) 徳川氏を破る 1936(天正364) 徳川氏を破る 1938(天正366) 徳川氏を破る 1940(天正368) 徳川氏を破る 1942(天正370) 徳川氏を破る 1944(天正372) 徳川氏を破る 1946(天正374) 徳川氏を破る 1948(天正376) 徳川氏を破る 1950(天正378) 徳川氏を破る 1952(天正380) 徳川氏を破る 1954(天正382) 徳川氏を破る 1956(天正384) 徳川氏を破る 1958(天正386) 徳川氏を破る 1960(天正388) 徳川氏を破る 1962(天正390) 徳川氏を破る 1964(天正392) 徳川氏を破る 1966(天正394) 徳川氏を破る 1968(天正396) 徳川氏を破る 1970(天正398) 徳川氏を破る 1972(天正400) 徳川氏を破る 1974(天正402) 徳川氏を破る 1976(天正404) 徳川氏を破る 1978(天正406) 徳川氏を破る 1980(天正408) 徳川氏を破る 1982(天正410) 徳川氏を破る 1984(天正412) 徳川氏を破る 1986(天正414) 徳川氏を破る 1988(天正416) 徳川氏を破る 1990(天正418) 徳川氏を破る 1992(天正420) 徳川氏を破る 1994(天正422) 徳川氏を破る 1996(天正424) 徳川氏を破る 1998(天正426) 徳川氏を破る 2000(天正428) 徳川氏を破る 2002(天正430) 徳川氏を破る 2004(天正432) 徳川氏を破る 2006(天正434) 徳川氏を破る 2008(天正436) 徳川氏を破る 2010(天正438) 徳川氏を破る 2012(天正440) 徳川氏を破る 2014(天正442) 徳川氏を破る 2016(天正444) 徳川氏を破る 2018(天正446) 徳川氏を破る 2020(天正448) 徳川氏を破る	            



【用語解説】

◆早山城（ひらやまじょう）

城の立地による分類の一つ。低い山・丘とその他の平地を利用して築かれた城。

◆土塁（てんれい）

三堀、四堀などの大堀（おおやぐら）を堀とすべし。一つの城の区画として高い堀を築いた。

◆曲輪（まがり）

城を構成する丸・二の丸などの区画。郭とも書く。

◆石壁（せきかき）

曲輪の周囲に石垣を築き囲んだ土塁。

◆土壇（どぼだい）

堀を掘り跡や壁の上などに建てられる礎で、木柱の骨組みを支えるためのもの。骨柱を挿す基礎用溝の丸や角・砂利等を石として土を固めたものがある。

◆散形土（ちりぢり）

壁の上から離れた堀や溝の内側の通路部分のこと。また、天守や櫓の基部の周囲に築かれた通路状の部分。

◆陸奥石垣（はちまきいしがき）

土壁の上部にも石垣を築いたもの。高く石垣を築く技術が発達する前の石垣の特徴といえる。

◆野面積み（のづらづみ）

石垣の積み方の一種で、自然の石をあまり加工しない積み方したもの。

◆裏込（うらごめ）

石垣の背後に排水と増地のために詰められる小石のこと。

◆安政元年浜松城修築（安政元年浜松城修築図）

安政元年（1854）に修築された浜松城の修築図を示した図。

◆家紋（かゑもん）

新瓦の一種で、軒に家紋をあしらった瓦。浜松城では城主が替わるときに置き替えられた。

◆江戸時代の浜松城復元図

浜松城は、江戸時代になると、徳川譜代の大名が治める城となり、二の丸御殿の復元や三の丸への拡大整備が行われました。浜松城と一体になって整えられた城下町とともに、政治・経済の拠点として栄えました。

◆お城めぐり

「お城めぐり」は、お城めぐりを楽しむためのガイドブックです。お城めぐりを楽しむためのガイドブックです。お城めぐりを楽しむためのガイドブックです。

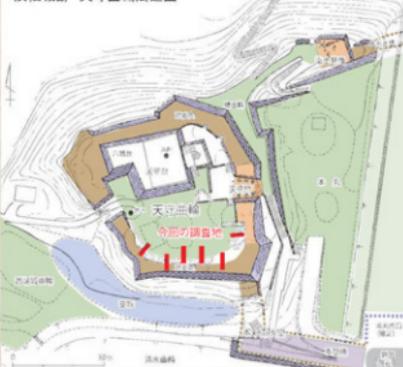
はままつじょうあと

浜松城跡 23 次

— 発掘調査現地説明会資料 —

浜松市文化財課（浜松市地域遺産センター）2018年2月10日

浜松城跡 天守曲輪周辺図



天守曲輪周辺図（安政元年浜松城修築図）



浜松城跡

浜松城は、三方原台地の東端にあたる段丘を利用した早山城で、浜松城下町は現在みられる浜松市街地の原点となっています。浜松城は、15世紀頃に築かれた引馬城（ひくまじょう）が前身となり、元徳元年（1570）に入城した徳川家康が浜松城と改称し、武田勝玄に対する前線基地として拡張、整備されました。その後、家康の関東移住に伴い入城した豊臣氏家臣の堀尾吉晴によって高い石垣と天守をもつ雄大な城郭として姿を変えました。現在、浜松城公園に残る石垣は、その時代に築かれたものとみられます。江戸時代になると、城主は代々徳川譜代の大名が務めることとなり、浜松城主となった多くの大名がのちに幕府の要職に就いたため、「出世城」としても知られるようになりました。

今回発掘調査した天守三輪（てんしゅうさんりん）は、堀尾吉晴が城主の時代に築かれたとみられます。天守三輪は掛川城や歌山城などにも見られますが、類似は決して多くありません。掛川城や歌山城は豊臣氏との関わりが深い人物が築城しており、天守三輪は秀吉と深くかかわる遺構ともいえます。浜松城の天守三輪は、東西約56m、南北約68mのいびつな多角形をしています。これは自然の山形を反映した結果と考えられ、石垣づくりの曲輪としては古相を留めた姿といえます。こうした複雑な形状は、追る敵に前面から攻撃を加えやすくする工夫でもありました。

浜松市文化財課（地域遺産センター）

TEL：053(542)3660

調査成果

今回の調査では、天守曲輪南側石壁の6箇所を発掘調査し、石壁の構造の解明を目指しました。浜松城の中核ともいえる天守曲輪の本格的な発掘調査は今回が初めてで、調査によって石壁の構造や曲輪の高さなどが明らかとなりました。

石壁の内部では、高さ2.0m（9段）の石垣が確認されました。石垣は自然の石を加工せずに積み上げる野面積み（のづら積み）と呼ばれる方法で築かれています。石垣が確認されたことで、石壁は内側からみて高さ3.2m、幅7.2mであったと分かり、江戸時代の絵巻にも描かれている石壁が今回の発掘調査で初めて確認されました。また、曲輪内の当時の地表面が、現在の地表面より2.5mも下であったことが判明し、浜松城の天守曲輪の構造や用途を深る上で重要な成果を得ることができました。

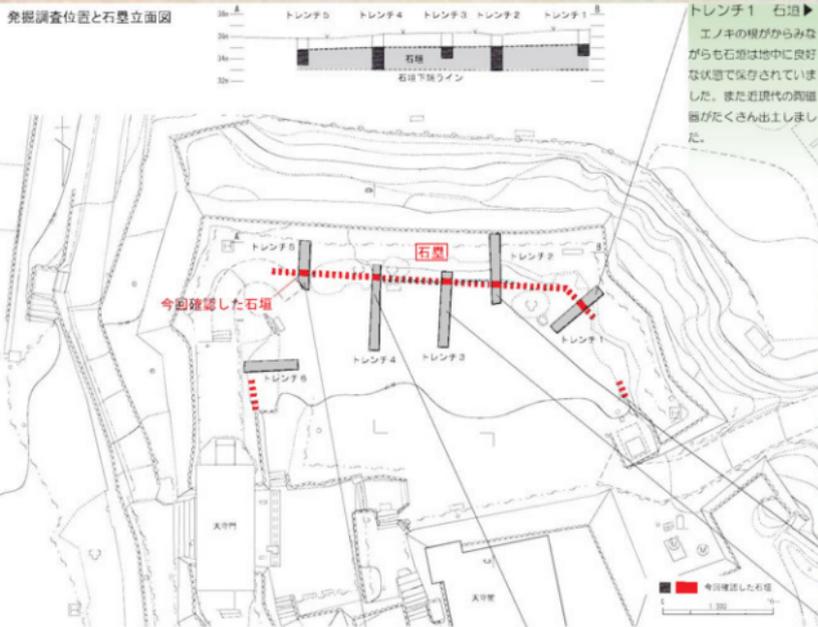


トレンチ5出土石

▲出土遺物

今回の調査では、瓦が多く出土しました。城主の家紋があらわられた瓦や破瓦もみられます。

発掘調査位置と石壁立面図



トレンチ1 石垣▶

エノキの根がからみながら石垣は地中に良好な状態で保存されていました。また近現代の陶磁器が多く出土しました。



トレンチ2 石垣▲
石垣がよく観察できます。

トレンチ3 石垣▼



トレンチ4 石垣▶

現在の公園見切縁石の下に深さ2m以上にわたって石垣が埋まっていました。



トレンチ5 石垣

残りの穴い瓦瓦など大層の瓦が埋まっていました。



石壁断面模式図

